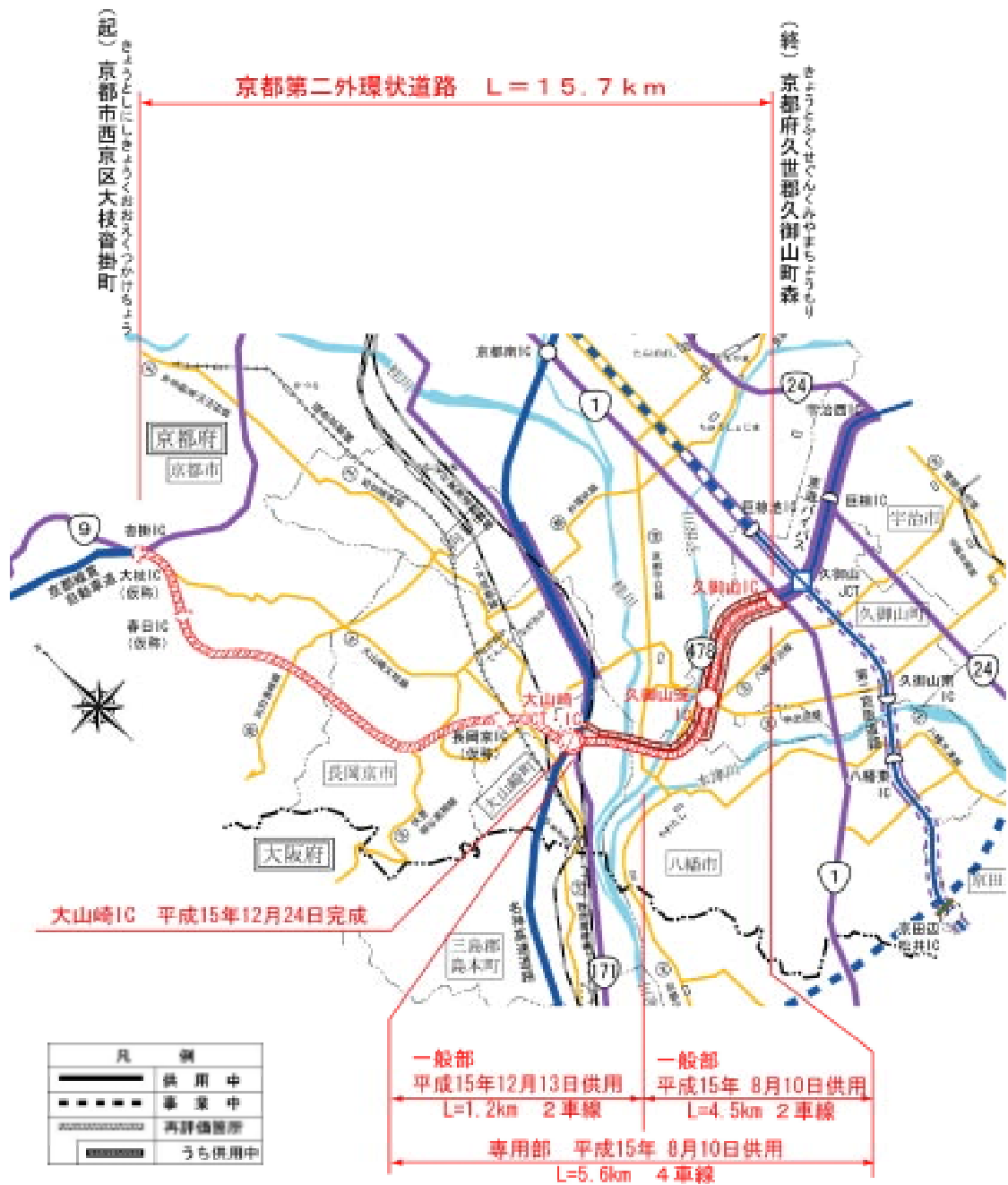


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課、有料道路課
担当課長名：中島 威夫、金井 道夫

事業名	一般国道478号 <small>きょうとだいにがいかんじょうどうろ</small> 京都第二外環状道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局 日本道路公団
起終点	自：京都市西京区大枝沓掛町 <small>にしきょうくおおえくつかけちょう</small> 至：京都府久世郡久御山町森 <small>くせくんくみやまちょうもり</small>	延長	15.7 km		
事業概要	一般国道478号は、南北に長い京都府の北部と南部の連携を強化し、地域の活性化に資する、全長約100kmの路線で高規格幹線道路の京都縦貫自動車道として整備中の路線です。京都第二外環状道路は、京都縦貫自動車道の一部区間を構成し、名神高速道路や京滋バイパスなどと連携し広域ネットワークを形成するとともに、京都都市圏の環状道路として、当該地域の通過交通の排除により交通混雑を緩和し、安全かつ円滑な交通を確保するとともに、京都都市圏の活性化を図ることを目的に計画された道路です。				
H 元年度事業化	H元年度都市計画決定	H 3年度用地着手	H 9年度工事着手		
全体事業費	約3,970億円	事業進捗率	55%	供用済延長	専用部:5.6km 一般部:5.7km
計画交通量	27,000台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.8 (残事業) 2.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 1,560/4,160億円 (事業費：1,456/3,968億円) 維持管理費：103/188億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 3,490/7,480億円 (走行時間短縮便益：3,015/6,685億円) 走行費用減少便益：325/566億円 交通事故減少便益：148/230億円	基準年 平成15年	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する） 地球環境の保全（対象道路の整備により削減させる自動車からのCO₂排出量） 他9項目に該当 				
関係する地方公共団体等の意見	京都府・京都市・長岡京市・八幡市・大山崎町及び久御山町より、京都第二外環状道路の早期整備の要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	沿線地域においては大規模な宅地開発が進展しており、それに伴い人口及び自動車保有台数が着実に増加している。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	大山崎JCT～久御山IC間から優先的に整備を進めており、平成15年12月迄に大山崎JCT・IC～久御山IC間の供用を図った。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	残る事業区間である大枝IC～大山崎JCT・IC間について、長岡京市域の用地買収が約36%となっており、今後積極的に地元設計協議を進め、早期に全線供用に向けて事業を推進していく。				
施設の構造や工法の変更等	橋梁工事において、橋の少少数主桁化、コンクリート橋のPRC構造の採用及び支承の剛構造等の採用により、コスト削減をはかっている。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

